

# 認知症を知ろう!



～ 認知症サポーターになりませんか? ～

## ● 認知症はどんな病気?

年齢を重ねると起こりやすくなる「脳の病気」で、さまざまな障がいが起こり、生活する上で支障がでてくる病気です。認知症には、アルツハイマー型、脳血管性認知症など様々な種類があります。

## ● 認知症の症状

認知症には必ずみられる「中核症状」(記憶の障がい・判断力の低下など)と、妄想や外出行動といった「周辺症状」があります。周辺症状は、本人の心理状態や周りの環境の影響を受け出現する場合がありますので、家族や周りの人が認知症について正しく理解することが大切です。

## ● 早期発見・早期治療の意味

最初の症状で多くみられるのは「もの忘れ」です。ただ、認知症によるものと、年齢による物忘れは異なるものなので注意が必要です。日常生活のちょっとした変化から現れることが多いため、身近にいる人ほど発見しやすいといえます。認知症は、早期から発見して適切な治療やケアを受ければ、症状を和らげたり、進行を遅らせることができる病気です。また、他の病気が原因で認知症の症状がでている場合は、治療を受けることで症状がよくなる場合があります。心配なことがある場合はかかりつけの医療機関や地区担当の保健師、地域包括支援センター(すこやか内)に気軽にご相談ください。

## 健康なもの忘れと認知症のもの忘れの違い

健康なもの忘れ	<p>朝ごはん かんだら なにか 体験の一部分だけを忘れている</p>	<p>昨日は あそこ おいたんだ 自分がもの忘れをしたことを認識している</p>	日常生活に 支障はない
認知症のもの忘れ	<p>ごはんは まだか 食べた 体験そのものを忘れている</p>	<p>サイフが ないのよ 自分がもの忘れをしたことを認識していない</p>	日常生活に 支障をきたす

## 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、あたたかい目で見守る「応援者」です。約1時間半の認知症サポーター養成講座を受けられた修了者には「応援者」の目印としてオレンジ色のリングを配布しています。だれもが認知症について正しく理解して、支えあえる南部町となるよう、認知症サポーター養成講座を随時開催しています。今年度も地域や企業からの要請を受け、88人が認知症サポーター養成講座を終了されました。



くわしい内容については、お気軽にお問い合わせください。(団体等での受講申し込みが基本となります)